



学園通信

練馬区立大泉学園中学校

平成30年6月19日発行 校長 晴佐久和彦

「一致団結」を実感 ～第56回運動会～

入梅を迎え、蒸し暑く天気予報の気になる日々が続いています。そうした中、梅雨の晴れ間が広がる日には、校庭から子ども達が活動する元気な声が響いてきて、まもなく訪れる本格的な夏を感じさせてくれます。

さて、今月2日の土曜日に、好天の下で第56回運動会を開催致しました。当日は早朝よりご来賓の方々をはじめ、多くの地域・保護者の皆様がご来校くださり、本校生徒に大きな声援を送っていただきました。改めて心より感謝申し上げます。運動会の個々の結果等については本通信の後段でお伝え致しますが、ここでは標題の「一致団結」という事に関して少し書かせていただきます。

生徒は日々学校生活を過ごしていますが、そうした日常生活の中で、クラスの一員、さらには学年・学校の一員という風に直接感じる機会はありません。その意味で、今回の運動会をはじめとする各種の学校行事は、集団の一員として仲間との連帯感を持つことが出来る貴重な機会であると言えます。

連帯感を深める早道は、一つの目標に向かって共同作業に取り組むことです。学年団体種目の「大縄」「ムカデ競走」では同じペース、同じタイミングで動かなければ、縄は回らないし、ムカデは進みません。さらに、最初は合っているでもそれぞれのペースが違えば競技は止まってしまう、続かなくなります。各生徒は繰り返し練習する中で、一人一人が周囲のペースを感じて合わせようとする、さらに「自分が出来るから」ではなく、ちょっとペースの遅い人の様子も感じ取りながら集団としてのより適切なペースをつかむことを学んでいきました。そしてこうした努力が実って、クラス全体の動きが一致し、全員の気持ちが団結したのが運動会当日の演技だったような気がします。

3年生のムカデを例にとれば、当日も男女の列が離れてしまうなど、いろいろな状況がありました。そうした中で、うまくいかなかったことで誰かを責めるということではなく、互いに思いやり、「挽回していこうよ」という雰囲気の中で前向きに競技に取り組んでいた各クラスの姿に接し、心からの感動を受けました。まさに「一致団結」を示してくれた学園中生でした。お互いの個性・違いを理解し合い、協力していく姿勢を今後の学校生活でも大切にしてください。

また、今回の運動会は「生徒の力で作り上げる」という面も素晴らしかったと思いました。実行委員会の人を中心に皆が協力して物事を進めていく形は、合唱コンクールなどの行事ではもちろんのこと、日々の学校生活でも心掛けていってほしいと願っています。

※写真は左から「1年生大縄」「2年生中ムカデ」「3年生大ムカデ」



第56回 運動会を終えて

私は、今年で学園中6回目の運動会でした。毎年実行委員の指導を行っていますが、今年は1番時間と労力をかけて実行委員の指導を行いました。今年から例年、教員が行っていた練習計画、運営、当日の進行を生徒に任せました。運動会を実行委員にできるだけ任せ「生徒がつくる運動会」を実現したかったからです。教員がやっていたことを生徒が行う。しかし、運動会の質は落としてはならないということで、実行委員に求める事はとてもハードルが高く厳しいことばかりでした。たくさん失敗し、たくさん話し合い、日に日にたくましく成長していきました。



当日も立派に使命を果たし「生徒がつくる運動会」を作り上げてくれました。今年の運動会は1番大変でしたが、終わった時に1番充実感があったような気がしています。

保健体育科・運動会担当 武田 哲平

3年生の学級委員新聞(運動会)より紹介

- ・一人一人が意見を出し合うことができたと思います。全員が声かけをしてクラス全体がまとまりました。
- ・リーダーの人が力を発揮して、みんなを引っ張ってくれたため、みんなもそれに従っていくことができました。
- ・運動会という行事に全員がしっかりと集中して取り組むことができていたと思いました。
- ・実行委員の意見をしっかりと聞き、従って行動することができました。それにより、クラス一人一人が意見を表明していてよかったです。
- ・声をしっかりと出すことや意見を言うなど団結することができ、1つのこととしてやり遂げられたのでよかったです。

運動会 総合順位・主な種目の結果・新記録

総合順位

1年生	優勝	A組
	準優勝	C組
2年生	優勝	A組
	準優勝	D組
3年生	優勝	D組
	準優勝	E組



選手宣誓の様子

1年生

	全員リレー	大縄跳び	学級対抗選抜リレー
1位	C組	A組	A組
2位	A組	D組	C組



2年生

	全員リレー	中ムカデ	学級対抗選抜リレー
1位	A組	A組	D組
2位	D組	B組	C組

3年生

	全員リレー	大ムカデ	学級対抗選抜リレー
1位	A組	E組	E組
2位	B組	A組	D組

新記録

2年 女子 50Mハードル

橋本 若奈 さん 記録 8秒35

※これまでの記録 8秒73 (H28年)

3年 女子 50Mハードル

森 友那 さん 記録 8秒63

※これまでの記録 8秒78 (H29年)



第1回 学校評議員会

6月14日(木)10:30から今年度第1回の学校評議員会が開催されました。校長あいさつ、評議員の委嘱、自己紹介のあと、今年度の学校経営計画と各学年経営計画、学校予算について説明をさせていただき、意見交換を行いました。評議員の方からは、「入学式の時に姿勢が崩れている生徒がいたのが気になった」とご指摘がありました。一方で「昔の卒業式の様子に比べるとよくなってきています」と評価していただきました。また、校外での学園中の生徒で気になることとして「道を歩いているときに広がっている」という情報提供と「学園中の前の道は大通りに出やすく交通量は思いの外多く、気をつけて欲しいです」とご意見をいただきました。意見交換会の後に各学年の4校時の授業を参観しました。授業の様子からは「静かにどのクラスも落ち着いて授業を受けている」と評価していただきました。いただいたご意見を基に、改善に取り組んでいきたいと思っております。ご参加くださった評議員の皆さま、ありがとうございました。

職業講話

6月9日(土) 9:45から武道場で1年生を対象に職業講話が行われました。講師として株式会社河野保険事務所代表取締役 河野 孝史 様(昭和54年度卒業・18期)、株式会社 あわ家惣兵衛代表取締役社長 佐藤 公明 様(昭和52年度卒業・16期)をお招きして「仕事の内容」や「なぜ、いつごろその仕事につこうと思ったのか」「仕事のやりがい」「仕事での苦労」「中学生時代のこと」などを中心にお話を聞きました。貴重な体験に基づいた示唆に富む話を生徒達は聞き入っていました。各講師の先生方のお話の概要をお伝えします。

○河野様のお話

私が中学生の時、大泉学園中学校はA組からK組まであり、各学年に500人ほど生徒がいました。中学生の時は野球部で野球づけの日々を過ごしていました。当時の野球部の仲間とは今でも会っています。友人をいっぱい作って欲しいと思います。大学ではアメフト部に所属し、4年間やり通しました。1つのことをやり通したことで自信になりました。君たちも何かに打ち込んでください。この仕事は父がしていました。親の姿を見て、仕事を継がなければと思いました。保険は形のないものを売っています。雨の日、道を歩いて自転車にぶつかってけがをしてしまったときなどの保障・安心を売っています。お客様の「ありがとう」を聞くためにこの仕事をしています。そして、地元の人達に支えられています。皆さんも1つ何か3年間やり遂げて有意義に過ごしてください。



○佐藤様のお話

私は人の話を聞くのが苦手でした。どのように克服したかという、その人が言っていることを繰り返して言うようにしました。そうすると人の話を聞くことができるし、忘れないようになりました。人は目標をもつと時間を短く感じます。目標をもつと時間を大切にします。私の父は和菓子屋でした。私は和菓子屋よりも喫茶店をやりたいかった。銀座で和菓子を作ったり、サーフショップを開いたり、父に言われてレストランでスパゲッティを作ったりしました。でも、最後はイヤになって和菓子屋をやらせてくれと父に言いました。好きなことを仕事にするのはいいですが、私は嫌いなことをやり続けて、今は誰よりも和菓子を作るのが好きです。皆さんもまずはやってみて、友達とたくさん話をして楽しく学びましょう。父と和菓子を作って考えました。和菓子というのはそんなに単価が高いものではありません。100個売れてもたいした利益にはなりません。工夫をして60人ほどの従業員を雇い、支店なども出すようにしました。大切なのは毎日の積み重ねです。今は、答えを見つけようとすればすぐに見つかります。数学の先生はよく計算式が大切だと言っていました。私は答えが合っていればいいと思っていました。今思うと大切なのは式です。答えばかりを求めてはいけません。従業員の面接で、すぐに答えを求める人は採用しません。毎日を大切に、力をつけないとだめです。先生からいろいろ盗んでください。私は後悔しない生き方をしたい。お金は無くなりますが身に付けた能力は無くなりません。頑張ってください。

